

二子山&武川岳山行報告

【山行日】 2015年12月6(日) 晴れ
【集合】 岩舟支所P AM 5:20
【費用】 マイカー1台 : 2,100円
【メンバー】 CL: 鈴木、岩淵、大西、梶内、
関、渡辺、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P5:20=
道の駅「果樹公園あしがくぼ」P6:45/7:10~
二子山(雄岳)9:00~焼山 10:00/10:10~
武川岳 11:20/12:05~名栗げんきプラザ
13:40~長岩峠 14:00~正丸駅 14:50/15:15=
岩舟支所 16:55



冬山に向けたトレーニング山行に、アップダウンの激しい奥武蔵きってのロングコースを計画した。

正丸駅に早く着いたため、道の駅「果樹公園あしがくぼ」まで行き、下山してから電車で車を回収することにした。トイレを済ませ、ストレッチをして出発しようとする、「もう一度トイレに行きたい」と皆トイレに行く。緊張のせいなのか、歳のせいなのかやたらトイレが近い。

道の駅の裏側から標識に従って進み、左へトンネルで線路をくぐる。雑木林の小尾根を越えると、兵ノ沢沿いに登る道となる。沢を渡り返しながら、雑木林や植林の山腹を徐々に高度

を上げて行く。カエデの紅葉がまだ残っており、つらい登りを癒してくれる。尾根に取りつき、少し登ると平坦な道を歩くようになり稜線鞍部に出る。

ここからは木段の急登となり、15分頑張ると二子山雌岳に着く。小休止後、岩道を下り登り返すと雄岳に着く。風が冷たいので、少し先の展望所まで降りて休憩をとる。

武甲山や浅間山の眺望を楽しみながら、干し柿や菓子でエネルギーを補給する。

小ピークをいくつか越え、左に松枝への道を分けると焼山への急登が始まる。ザラザラと滑りやすい急斜面を登りきると、展望が素晴らしい焼山の山頂に着く。この山頂は風も無く暖かで、のんびりと眺望を楽しむ。

武甲山が間近に見え、雪化粧した浅間山が立派に見える。

焼山からは樹間に武甲山を見ながら、尾根上を歩く快適な登山道に行く。雑木林と植林が交錯する尾根を、アップダウンを繰り返しながら登って行く。やがて露岩が目立ってくると、大きく右に曲がる





尾根に出て少し登った所が蔦岩山。蔦岩山からは初めて武川岳を見ることが出来る。雑木林の道を、緩やかにアップダウンを繰り返して行くと武川岳山頂に着く。武川岳山頂は南面が開け、蕨山や棒ノ折山、その奥に奥多摩や丹沢の山々が見わたせる。ベンチを2つ借りてランチタイムとする。今日のランチは我輩特製のトマトパスタとパスタの茹で汁を使ったタマゴスープと豪華。昨日時間を掛けて作った、特製トマトソースは美味で大好評だった。

ゆっくりランチをいただき、記念写真を撮って山頂を後にする。

山頂から東の尾根を下り、名栗げんきプラザに向かって降りて行く。明るく広い尾根道を下り、オーグリ入沢へ下る道を右に分けて直進する。展望台と書いてあるピークから南東方向へ下って行くが、あまり歩かれてなく道は踏み跡程度しかない。赤やピンクのテープがやたら付いていて、テープを追えば迷うことは無い。歩きにくい急降下が続くが、林道を渡ると傾斜が緩くなりげんきプラザの案内板に導かれて車道に出る。げんきプラザの先で休憩をとり、大きなフルーツケーキを食べてエネルギーを補給する。伊豆が岳方面の道標に従い、沢を渡って長岩峠への登りに取付く。本日最後の登りを、20分で登り切り後は正丸駅まで下るのみ。ここで我輩は先行し、正丸駅から電車に乗り芦ヶ久保駅まで行って車を回収する。正丸駅に戻ると、皆さん駅前のベンチで待っていた。皆さんも頑張って、1時間10分の下りを50分で降りて来たそうだ。ロングコースを登り切り、達成感に満ちた笑顔がとても爽やかだった。帰りは通い慣れた圏央道を走り、いつもの菖蒲SAに寄り岩舟支所に予定より早く帰着した。

